



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 ラサ工業株式会社

コード番号 4022 URL <http://www.rasa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 坂尾 耕作

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 望月 哲夫 TEL 03-3258-1835

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	14,263	△6.1	1,150	31.8	1,131	35.7	875	44.1
2020年3月期第2四半期	15,184	△2.6	873	△27.1	833	△33.1	607	△44.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 932百万円 (88.7%) 2020年3月期第2四半期 494百万円 (△50.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	110.40	—
2020年3月期第2四半期	76.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	37,064	16,363	44.0
2020年3月期	37,563	15,748	41.8

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 16,303百万円 2020年3月期 15,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	—	—	40.00	40.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,400	△1.2	2,100	12.2	2,100	21.7	1,500	8.9	189.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）－、除外 一社（社名）－
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
 - ② ①以外の会計方針の変更：無
 - ③ 会計上の見積りの変更：無
 - ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,944,203株	2020年3月期	7,944,203株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	18,713株	2020年3月期	18,492株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,925,625株	2020年3月期2Q	7,925,933株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、個人消費が大幅に減少し、企業の設備投資も縮小傾向で推移しました。一方で、政府の消費刺激を柱とする大型経済対策に期待が持たれるものの、米中貿易摩擦の影響による経済活動の停滞などから、先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のなかで、当社グループは、中期経営計画の最終年度を迎え、引き続き「事業基盤の更なる安定と強化」を目指すことを基本方針として、収益力の向上、持続的成長に向けた新規事業の育成、財務体質の更なる強化に努め、業績の向上と収益の確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間は、売上高142億63百万円(前年同期比6.1%減)、営業利益11億50百万円(前年同期比31.8%増)、経常利益11億31百万円(前年同期比35.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は、8億75百万円(前年同期比44.1%増)となりました。

当社グループのセグメント別の概況は、次のとおりであります。

①化成品事業

燐酸などの燐系製品につきましては、一般品及び二次塩類については需要の低迷により減収となりましたが、電子工業向け高純度品については、国内外共に半導体向けが増収となったことから、燐系製品全体としては増収となりました。

凝集剤関連製品につきましては、上下水道向けが堅調に推移したことから、エッチング用途向けの減収をカバーし、全体としては増収となりました。

コンデンサー向け原料及び消臭剤は、ほぼ横ばいとなりました。

この結果、当セグメントの売上高は、108億58百万円(前年同期比3.6%増)、セグメント利益は、9億62百万円(前年同期比54.2%増)となりました。

②機械事業

破砕関連機械につきましては、破砕選別機の本体販売が低調に推移したことに加えて、大型プラントの販売も減少したことから大幅な減収となりました。また、消耗部品は堅調に推移したものの、特殊スクリーンや鋳鋼品の販売は低迷しました。

下水道関連の掘進機につきましては、海外向けの本体販売が増収となりましたが、部品・整備が落ち込み、前年並みとなりました。

精密機械加工は弱含みで推移しました。

この結果、当セグメントの売上高は、19億52百万円(前年同期比42.0%減)、セグメント利益は、68百万円(前年同期比78.9%減)となりました。

③電子材料事業

化合物半導体向け高純度無機素材につきましては、ガリウム、インジウムなどが堅調に推移し、赤燐も持ち直しが進みました。また、高純度ホウ酸も大幅な増収となりました。タッチパネル等に用いられる塗布剤は減収となりました。

なお、市況の回復による在庫評価の益要因もあり大幅な増益となりました。

この結果、当セグメントの売上高は、8億47百万円(前年同期比17.5%増)、セグメント利益は、2億3百万円(前年同期はセグメント利益16百万円)となりました。

④その他

石油精製用触媒の再生事業は、若干の減収となりました。不動産の賃貸はほぼ前年並みで推移いたしました。

この結果、当セグメントの売上高は、6億4百万円(前年同期比1.7%減)、セグメント利益は、3億89百万円(前年同期比1.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における資産につきましては、流動資産が前連結会計年度末に比べて3億88百万円減少し、162億84百万円となりました。この主な内訳は、受取手形及び売掛金が9億39百万円減少した一方、現金及び預金が2億45百万円増加、たな卸資産が1億58百万円増加したことなどによるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べて1億10百万円減少し、207億80百万円となりました。この主な内訳は、有形固定資産が1億68百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べて11億14百万円減少し207億1百万円となりました。この主な内訳は、流動負債その他（主に設備支払手形）が6億70百万円減少、支払手形及び買掛金が5億89百万円減少したことなどによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益を8億75百万円計上した一方、剰余金の配当により3億17百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べ6億15百万円増加し163億63百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は370億64百万円となり、自己資本比率は44.0%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ2億45百万円増加し、49億82百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は15億83百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益11億91百万円、減価償却費7億37百万円、売上債権の減少9億45百万円、仕入債務の減少5億91百万円などによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は10億20百万円となりました。主な内訳は、有形固定資産の取得による支出10億円などによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は3億14百万円となりました。主な内訳は、長期借入金の借入による収入12億70百万円、長期借入金の返済による支出12億49百万円、配当金の支払額3億14百万円などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の経済見通しにつきましては、世界経済は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による景気の落ち込みから着実な回復を見せていましたが、経済活動の活発化に伴う感染再拡大などから強い不透明感が継続しており、依然として厳しい状況が続くと思われまます。このため、当社の経営環境は第2四半期連結累計期間と同様の状況が続くものと考えております。

このような状況の中、化成事業においては、一般工業用製品等の売上は低迷するものの、半導体向け高純度リン酸は高水準の販売が続くものと見込んでおります。機械事業においては、下水道関連の掘進機の海外向け販売は低調なものになる見込みです。また破碎関連機械はプラント工事の完工時期の延期等の影響から売上はやや減少する見通しです。電子材料事業においては、高純度無機素材の販売は堅調に推移すると見込まれ、レアメタル商品市況も底堅く推移すると思われまますが、放射性ヨウ素吸着剤については試験研究費の増額を見込んでおります。

このような見通し及び第2四半期連結累計期間の進捗状況を踏まえ、2021年3月期通期の業績は、当社グループの売上高294億円、営業利益21億円、経常利益21億円、また親会社株主に帰属する当期純利益15億円を予想しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,737	4,982
受取手形及び売掛金	8,159	7,219
商品及び製品	1,771	1,760
仕掛品	809	842
原材料及び貯蔵品	928	1,065
その他	265	413
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,672	16,284
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,311	4,301
機械装置及び運搬具(純額)	4,736	4,431
工具、器具及び備品(純額)	582	599
土地	6,922	6,922
建設仮勘定	1,000	1,136
その他(純額)	97	91
有形固定資産合計	17,651	17,482
無形固定資産	37	48
投資その他の資産		
投資有価証券	1,498	1,653
その他	1,714	1,605
貸倒引当金	△9	△9
投資その他の資産合計	3,202	3,249
固定資産合計	20,890	20,780
資産合計	37,563	37,064

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,803	3,213
短期借入金	5,333	5,410
未払法人税等	204	328
賞与引当金	335	338
その他	2,387	1,716
流動負債合計	12,064	11,007
固定負債		
長期借入金	6,257	6,204
退職給付に係る負債	3,111	3,088
環境対策引当金	19	16
その他	363	383
固定負債合計	9,751	9,693
負債合計	21,815	20,701
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,443	8,443
利益剰余金	7,659	8,217
自己株式	△42	△43
株主資本合計	16,059	16,617
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△0	57
為替換算調整勘定	33	11
退職給付に係る調整累計額	△397	△382
その他の包括利益累計額合計	△364	△313
非支配株主持分	53	60
純資産合計	15,748	16,363
負債純資産合計	37,563	37,064

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	15,184	14,263
売上原価	12,123	11,011
売上総利益	3,060	3,252
販売費及び一般管理費	2,187	2,101
営業利益	873	1,150
営業外収益		
受取配当金	20	20
受取地代家賃	17	18
持分法による投資利益	91	108
その他	17	29
営業外収益合計	147	176
営業外費用		
支払利息	96	89
休止鉱山鉱害対策費用	46	47
その他	43	58
営業外費用合計	186	195
経常利益	833	1,131
特別利益		
移転補償金	-	59
投資有価証券売却益	11	-
特別利益合計	11	59
税金等調整前四半期純利益	845	1,191
法人税、住民税及び事業税	145	280
法人税等調整額	90	29
法人税等合計	236	309
四半期純利益	609	881
非支配株主に帰属する四半期純利益	1	6
親会社株主に帰属する四半期純利益	607	875

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	609	881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△21	58
繰延ヘッジ損益	△5	-
為替換算調整勘定	△67	15
退職給付に係る調整額	22	14
持分法適用会社に対する持分相当額	△42	△37
その他の包括利益合計	△114	51
四半期包括利益	494	932
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	494	925
非支配株主に係る四半期包括利益	0	6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	845	1,191
減価償却費	709	737
受取利息及び受取配当金	△21	△20
持分法による投資損益 (△は益)	△91	△108
支払利息	96	89
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11	-
売上債権の増減額 (△は増加)	387	945
たな卸資産の増減額 (△は増加)	163	△153
その他の資産の増減額 (△は増加)	△39	△94
仕入債務の増減額 (△は減少)	△528	△591
その他の負債の増減額 (△は減少)	144	△171
その他	50	△1
小計	1,703	1,822
利息及び配当金の受取額	22	21
利息の支払額	△95	△89
損害賠償金の支払額	△27	-
災害による損失の支払額	-	△14
法人税等の支払額	△208	△155
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,393	1,583
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△811	△1,000
投資有価証券の売却による収入	311	-
長期前払費用の取得による支出	△209	-
その他	△12	△19
投資活動によるキャッシュ・フロー	△722	△1,020
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,605	△4
長期借入れによる収入	-	1,270
長期借入金の返済による支出	△1,187	△1,249
配当金の支払額	△314	△314
その他	△15	△16
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,123	△314
現金及び現金同等物に係る換算差額	△31	△2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,484	245
現金及び現金同等物の期首残高	5,333	4,737
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,849	4,982

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,478	3,368	721	14,569	614	15,184	—	15,184
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	—	—	6	17	23	△23	—
計	10,484	3,368	721	14,575	632	15,207	△23	15,184
セグメント利益	623	324	16	965	393	1,358	△485	873

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△485百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△485百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	化成品 事業	機械 事業	電子材料 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	10,858	1,952	847	13,659	604	14,263	—	14,263
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4	—	—	4	17	21	△21	—
計	10,863	1,952	847	13,663	621	14,285	△21	14,263
セグメント利益	962	68	203	1,234	389	1,623	△472	1,150

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、石油精製用触媒再生及び不動産の賃貸等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△472百万円には、各報告セグメントに配賦していない全社費用△472百万円などが含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。